

異常な大雪に備えて

～「群馬県道路除雪会議」を設置～

本年2月14日～15日にかけて発生した記録的な大雪に際しては、関東各地で観測史上最高の降雪量を記録、群馬県内でも過去最高の積雪となり、道路交通網が混乱するなど県民生活に対して多大な影響を与えました。

今回の経験を踏まえて、同様の大雪が発生した場合に、道路交通への影響を最小限に抑えることを目的として、県内の各道路管理者・関係各機関が一同に集まり、課題を整理し、対応策を協議・検討することといたしました。

第1回会議を7月16日（水）に開催しましたので概要についてお知らせします。

1. 会議名称：群馬県道路除雪会議

2. 参加機関：

国土交通省高崎河川国道事務所、群馬県県土整備部、NEXCO東日本
群馬県警察、県内全35市町村、群馬県建設業協会、東京電力、NTT東日本

3. 会議において協議・検討する事項：

第1回会議では、本会議において協議・検討する事項として以下の7項目について確認・承認されました。

- ①異常豪雪時の体制に係る基本事項の確認
- ②除雪機械及びオペレーター等の配備
- ③効率的な除雪体制確保のための対応
- ④雪捨て場の事前確保
- ⑤道路利用者等への情報提供
- ⑥関係機関との連携強化
- ⑦その他必要な事項



4. 会議の進め方

会議は、「本会議」の下部組織として県内12地域による「地域部会」を設置。

「本会議」において大雪時の除雪に係る「基本計画」を定め、これに基づき「地域部会」により各地域の特性を踏まえた「地区計画」を策定する予定です。